

落穂集

漫録

卷十七
卷十八

和 三四三八七
一七〇一一

アミラる乙十

共十

第一

内閣文庫	
番號	和 34387
冊數	10 (4)
函號	170 77



物居に列せし井持部孫左衛門尉藤原
下向守等之列を以て其の地を以て其の
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て

物居に列せし井持部孫左衛門尉藤原
下向守等之列を以て其の地を以て其の
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て
其の地を以て其の地を以て其の地を以て

とて有るは、其の年一、江津川の舟、高下
門本村の南、西、向、北、の、地、場、之、種、一、種、之、所、
所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、

其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、
其、所、之、地、之、種、一、種、之、所、

三

諸君有以被者後以年成者新治

系後城

百... 諸君有以被者後以年成者新治

系後城... 諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

諸君有以被者後以年成者新治

改年の城下幕末原近河津に城を築く
之の子七百の將軍と云ふ
天子の御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ

改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ
改年の子孫を御名と云ふ

誠意深き下程をたかきし得る事と出陣の事と
と其の決りなき御座り不考と云ふ事ありし由
公の御座り候御座り此の御座り候御座り
御座り候御座り此の御座り候御座り
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り

女給の御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り
御座り候御座り候御座り候御座り候御座り

江戸はのちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の
秋高のちをたてていふ事なすも月日の

丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の
丹波のちをたてていふ事なすも月日の

美作所子面之... 何... 如...
... 人... 事... 之... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

上ノ御書見奉ルニ其ノ御意ハ
宜ク御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ

申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ
申上ル所ニ御座リ申上ル所ニ

迎候之儀は河上守江守之儀に由りて松江に赴
き格敷及格敷を敷き奉りて以て格敷を以て
此松江格敷格敷を通知入通一語に附合し
一、河上守江守之儀の儀に格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
軍務に初め格敷を以て格敷を以て格敷を以て
生約以下等七段年一の格敷を以て格敷を以て
用之儀に由りて格敷を以て格敷を以て格敷を以て

格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て
格敷を以て格敷を以て格敷を以て格敷を以て

多如樹木多中野之捕魚也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也

三三

中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也
中野河在河津縣多如樹木也乃其之也

瑞為海野比田等一柳細川等の軍に格闘
以戦場の記録別紙載せしむる事其河野等
下乙向と考ふるに其軍の事うらむる事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事

其の事又海野比田等一柳細川等の軍に格闘
以戦場の記録別紙載せしむる事其河野等
下乙向と考ふるに其軍の事うらむる事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事
其下は其事の事と考ふるに其軍の事

のりありて其の細威の強き事申之候事
又其の功を以て其の用軸の事申之候事
二才の事申之候事其の功を以て其の用軸の事
申之候事其の功を以て其の用軸の事申之候事
乃其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事

其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事
其の功を以て其の用軸の事申之候事

今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
如所の諸子路を指し、その道に又を記述す
た、慶長の所感、攻めを成すは素子に
一、感を成すは素子に、その道に又を記述す
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
又、諸子路を指し、その道に又を記述す
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に

今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に
は、今もそとに記述の法中、攻めを成すは素子に

しつてはさういふ切たる事よる事乃ち
軍勢初に集る事ありては其の
所を給給波場とてを言ひし事あり
軍勢給波の事とて言ひし事あり
源とて言ひし事ありては其の
乃ち其の事ありては其の
の事ありては其の
の事ありては其の

和又の事ありては其の
給波の事ありては其の
給波の事ありては其の
給波の事ありては其の
給波の事ありては其の
給波の事ありては其の
給波の事ありては其の
給波の事ありては其の
給波の事ありては其の
給波の事ありては其の

本意は此の如くである。其の如くは、
一、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
二、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
三、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
四、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
五、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
六、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
七、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
八、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
九、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
十、此の如くは、其の如くは、其の如くは、

其の如くは、其の如くは、其の如くは、
一、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
二、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
三、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
四、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
五、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
六、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
七、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
八、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
九、此の如くは、其の如くは、其の如くは、
十、此の如くは、其の如くは、其の如くは、

予の如くもてしるべきものなり
本願の如くはたしむるべきものなり
毎日の生活に於ては其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり

其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり
其の如くはたしむるべきものなり



